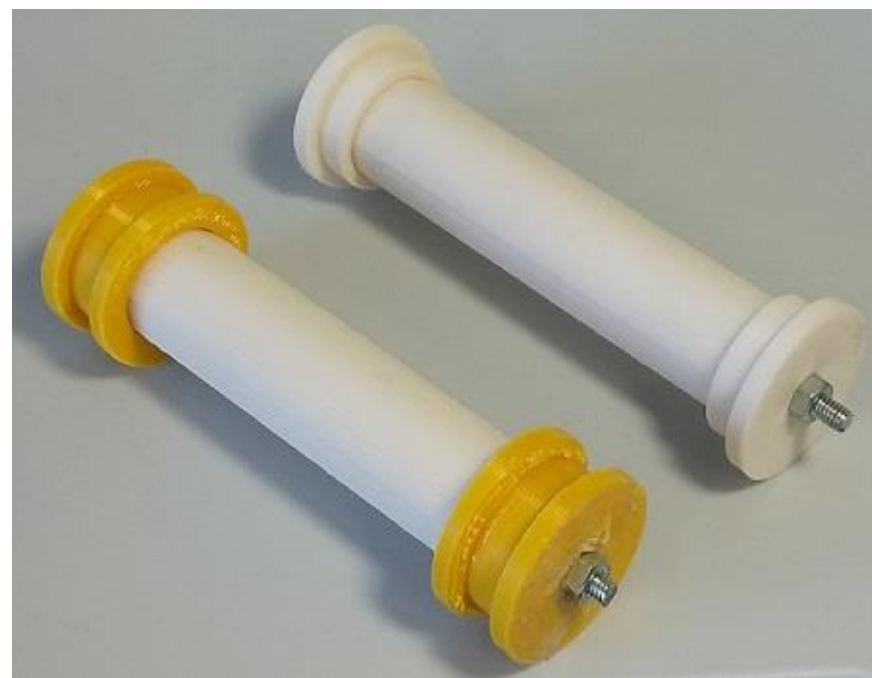
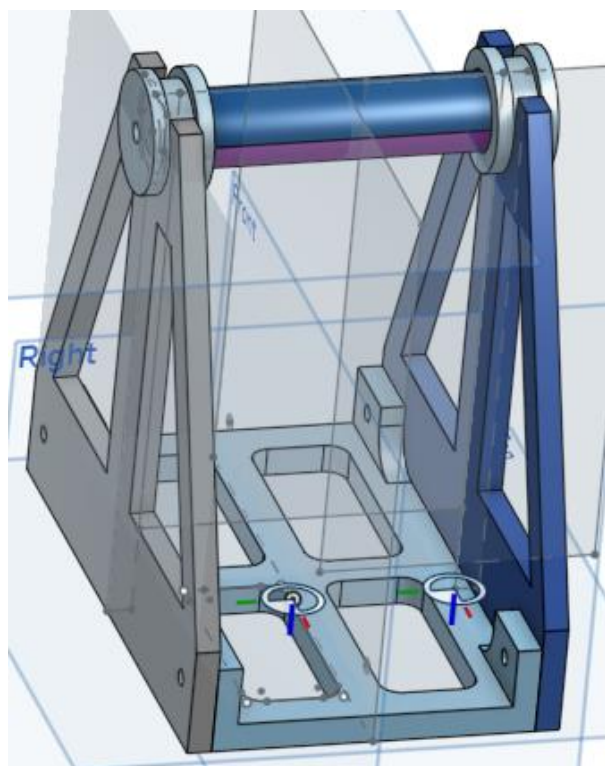


トップダウン設計例

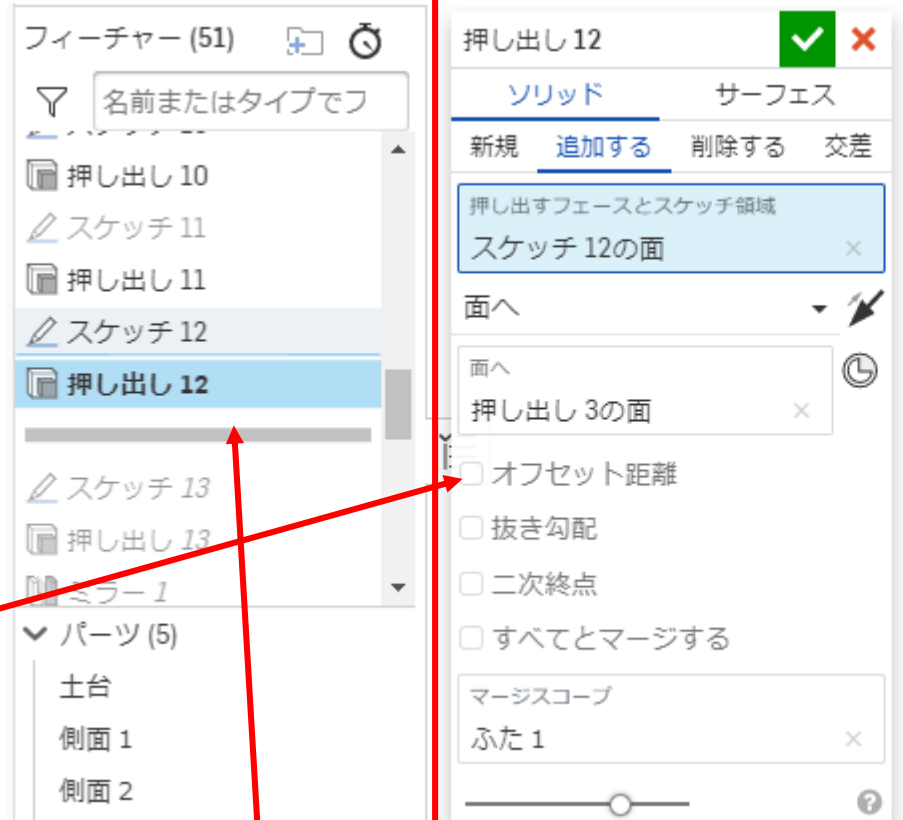
フィラメントホルダー修正1



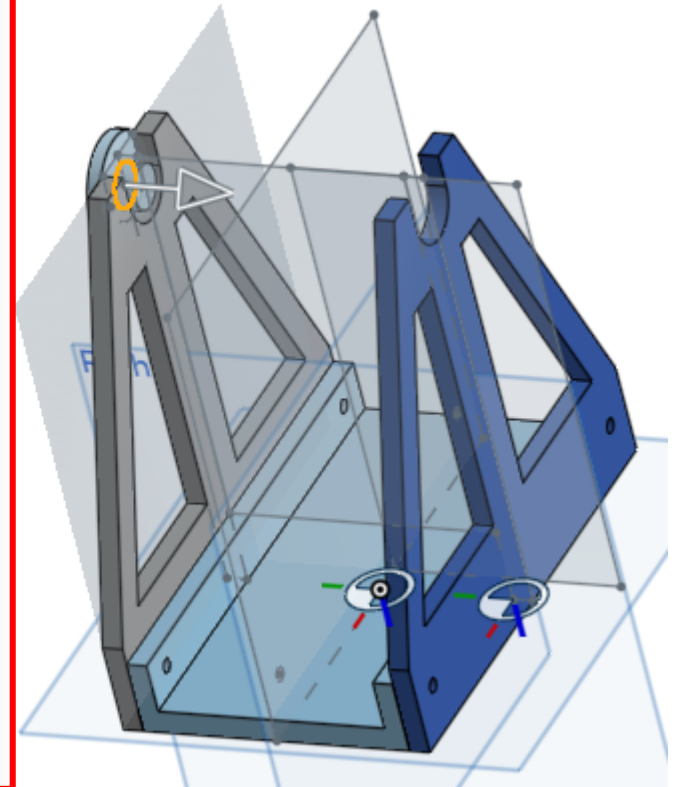
旭川高専
Kashi kashi
2022.3.31

1. ロールバックバーで作業を戻します

- ① ロールバックバーを「ふた」の押し出しまで戻します
- ② ロールバックバーを戻した位置まで作業が戻ります
- ③ ワークスペースの表示もロールバックバーの位置まで戻ります
- ④ 戻した位置にスケッチやフィーチャーの追加や、すでに作成したフィーチャーの変更ができます
- ⑤ 右図は元の「ふた」の押し出しのプロパティです

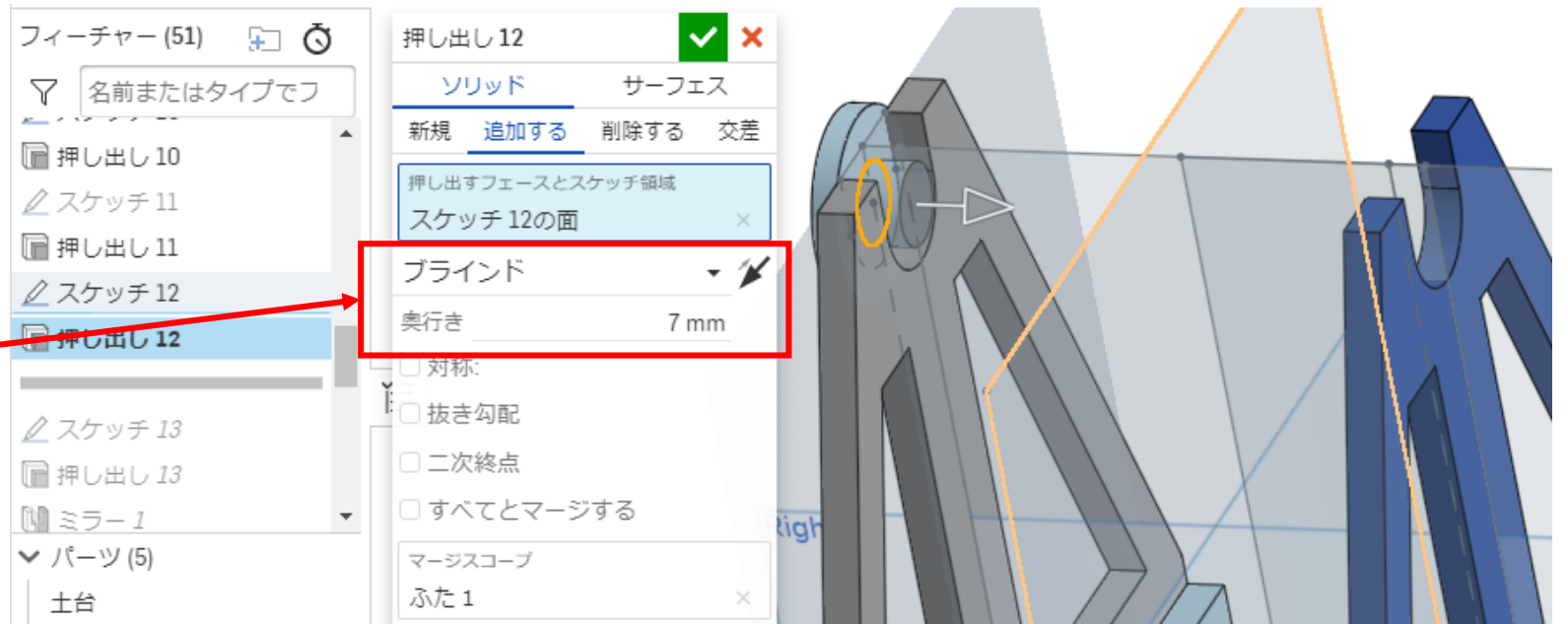


ロールバックバー (前後に移動できます)

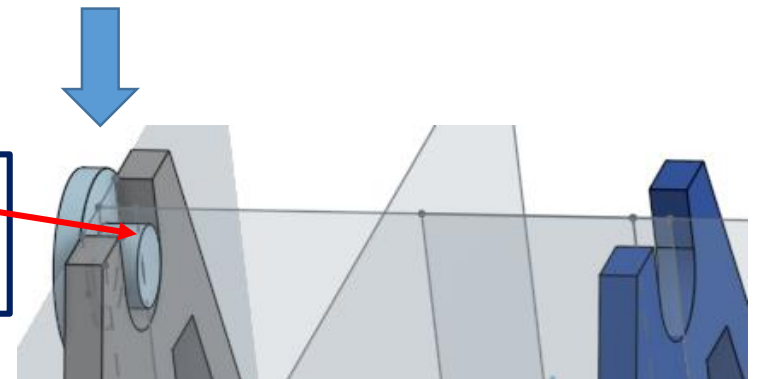


2. ロールバックバーで作業を戻します

- ① 「押し出し」のプロパティの設定を「ブラインド」にし「奥行き」を7mmにします → 側面の幅が6mmなので1mm大きくしました
- ② 確定します

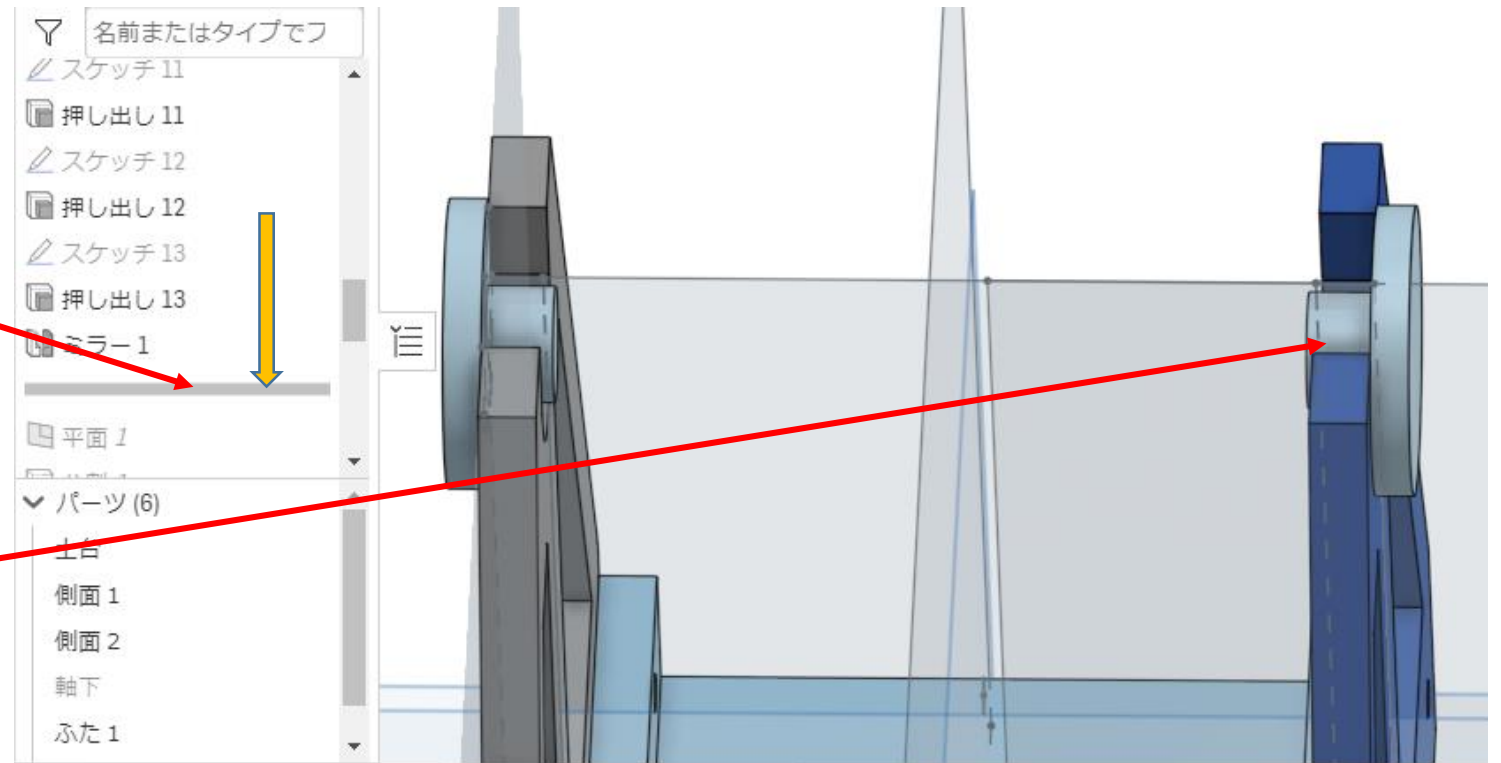


ふたの長さが1mm伸びました



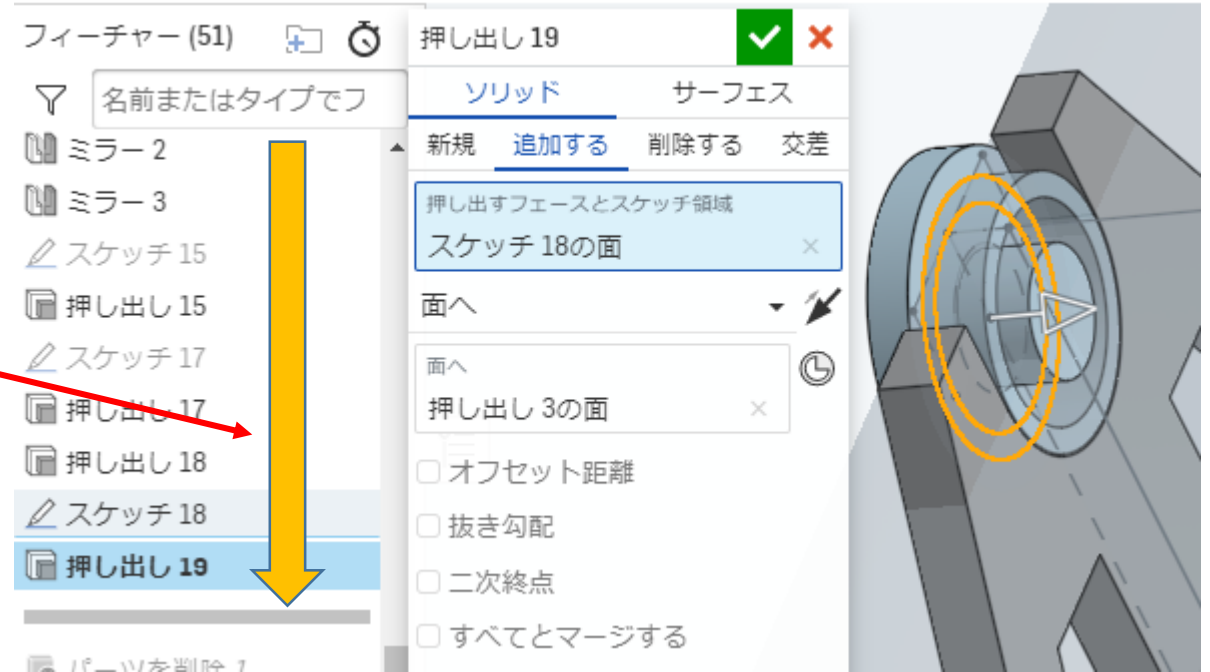
3. ロールバックバーで作業を戻します

- ① ロールバックバーをさきほどの押出しのから「ミラー」まで下げます
- ② 「ミラー」により左のふたと同じ形状のふたが右に現れます



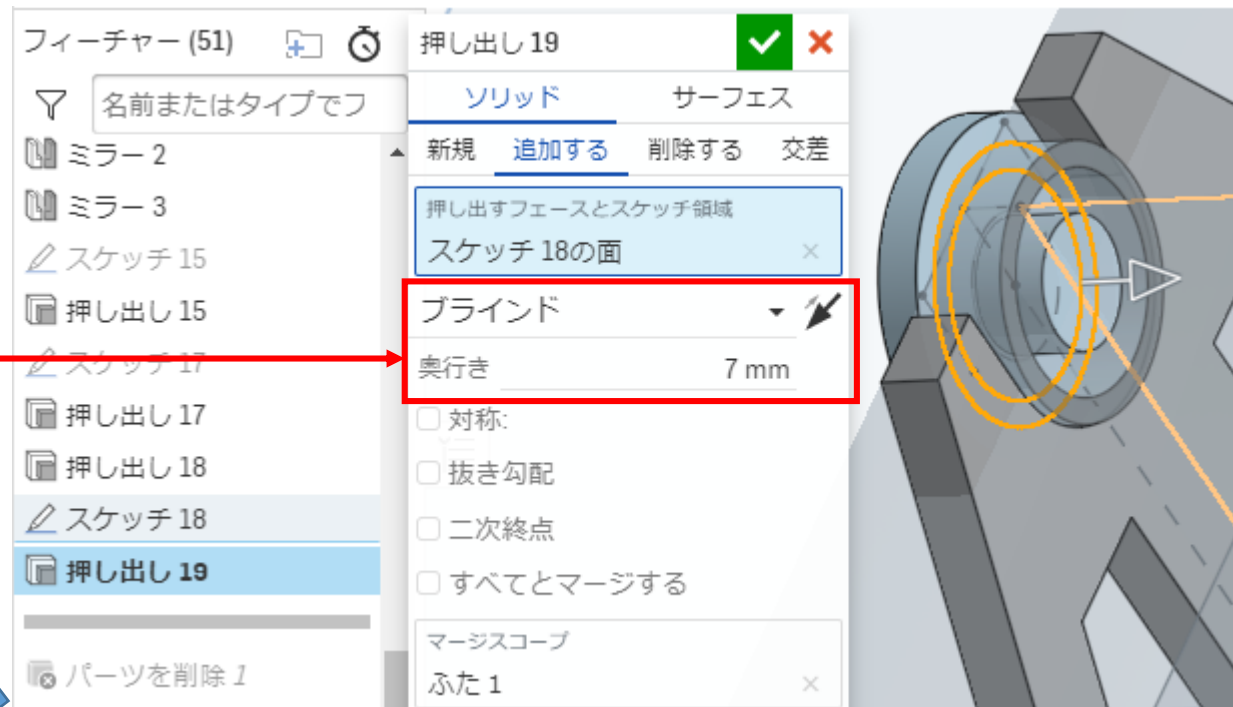
4. ロールバックバーで作業を戻します

ロールバックバーをさきほどの「ミラー」から、ふたが右図の形状になるまで下げます

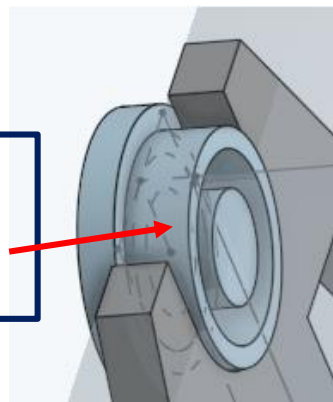


5. ロールバックバーで作業を戻します

- ① 押出しのプロパティの設定を「ブラインド」にし、「奥行き」を7mmにします
- ② 確定します



ふたの内も外も1mm
伸びました

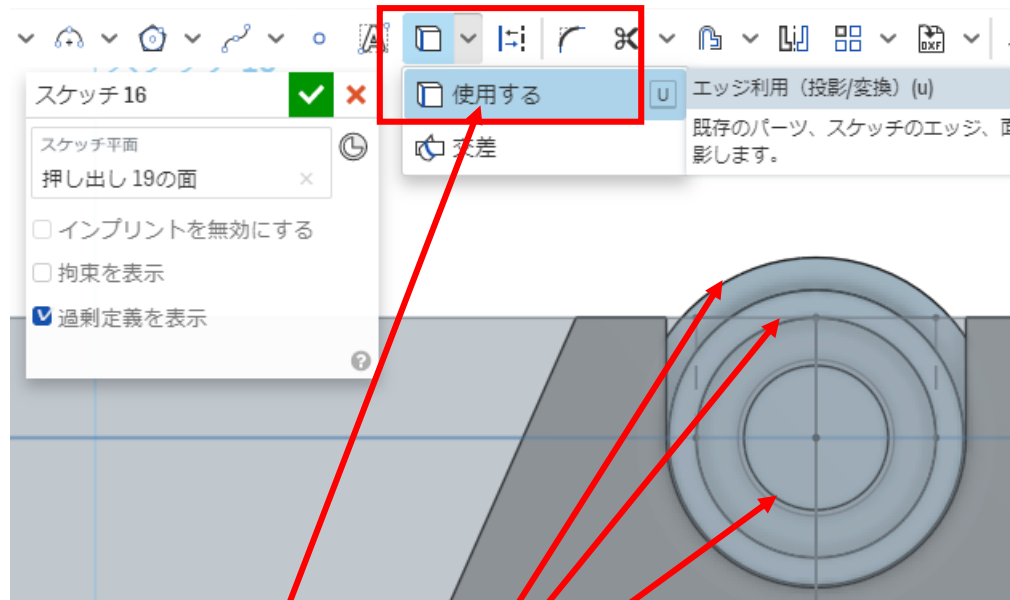


6. ロールバックバーで作業を戻します

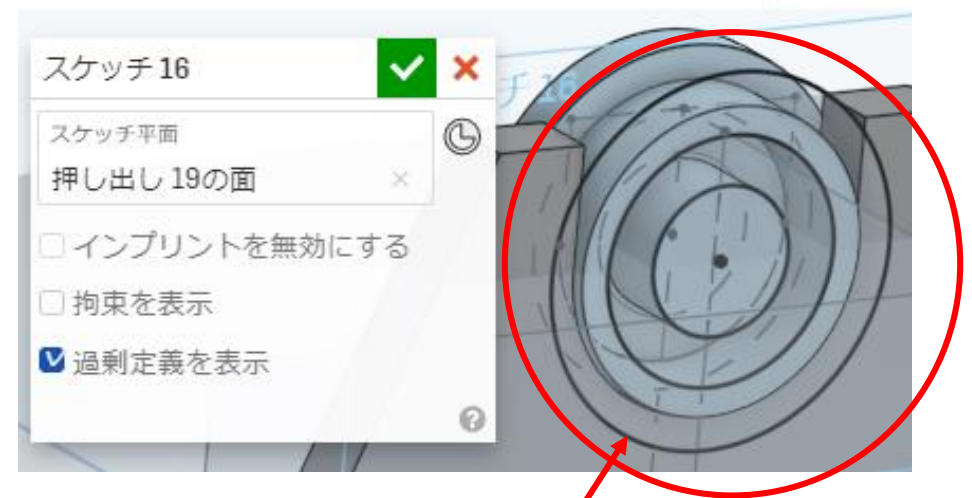


- ① ロールバックバーは動かしません
- ② 押出した外側の面をスケッチ面にします
- ③ フィーチャーリストのロールバックバーの上に「スケッチ」が追加されます

7. ロールバックバーで作業を戻します

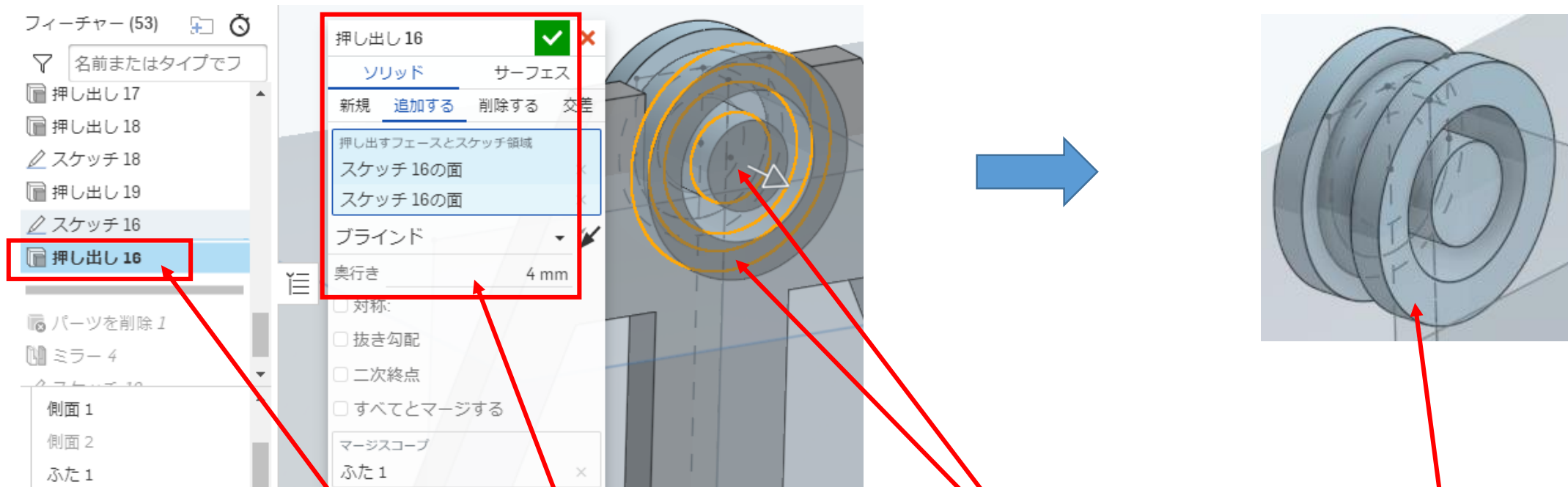


- ① スケッチ面を正面から見ます
- ② ふたの3つの円周を選びます
- ③ スケッチツールバーから「使用する」を選びます



スケッチ面に選択した3つの円周がコピーされます

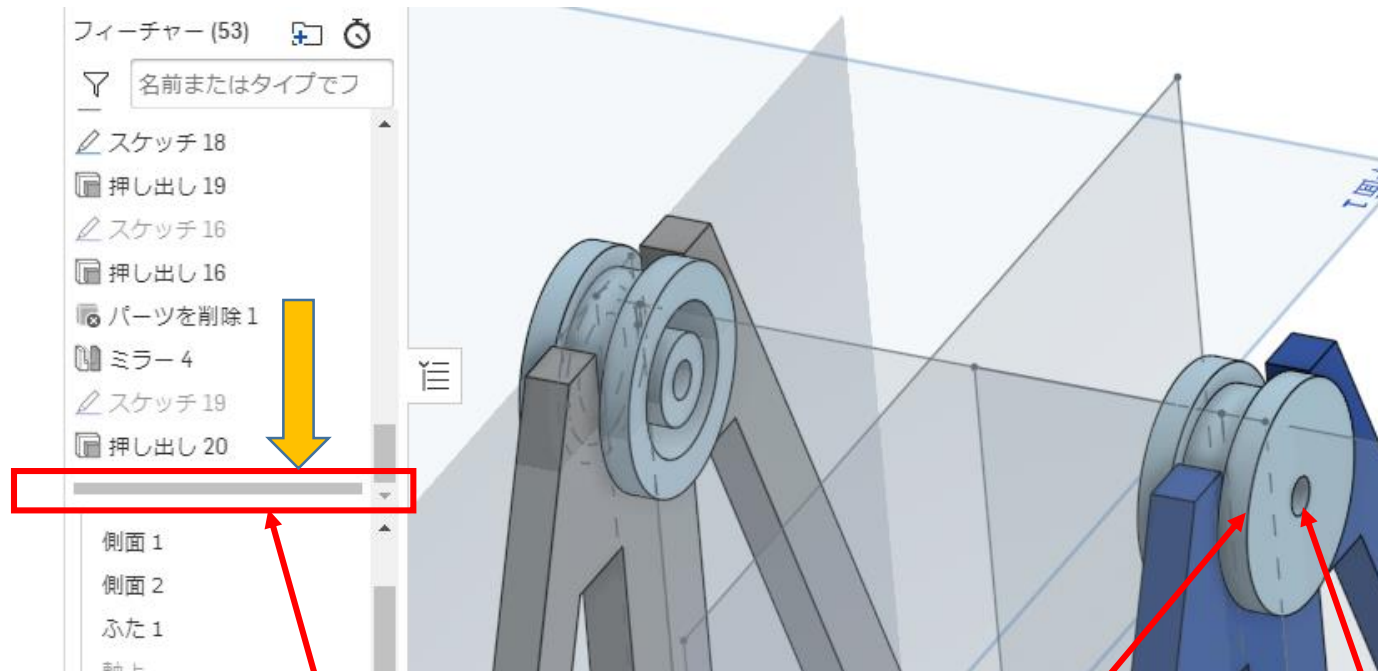
8. ロールバックバーで作業を戻します



- ① 押し出しの「追加」をします
- ② 押し出しするスケッチ領域はスケッチした円周の内側の2つの領域です
- ③ 「ブラインド」で「奥行き」は4mmにします
- ④ ロールバックバーの上に「押し出し」が追加されます

押し出しが確定するとふたは上図のようになります

9. ロールバックバーで作業を戻します



- ① ロールバックバーを一番下まで戻します
- ② ロールバックバーの下にある作業がすべて自動的に行われ、ふたがミラーされ2つになり、中心に穴もあきます → とても便利ですね

10. 修正後の全体図

ふたを修正後の全体図は
右図です

